



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

週報



所沢西ロータリークラブ
(RI第 2570 地区第 3 グループ)

会長 室伏秀樹 ・ 副会長(会長エレクト)山田富男
幹事 栗原和明 ・ クラブ管理運営委員長 内田 学
例会場 所沢市星の宮1-3-5 〒359-1127 セレス所沢 TEL.04-2923-4122
事務局 所沢市けやき台2-7-6 〒359-1118 安田第三ビル206号 TEL.04-2926-1666
例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) <http://www.tokorozawa-nishirc.net/> FAX.2926-5151
E-mail nishirc@dream.ocn.ne.jp

近辺 RC の開催日一覧表 (メーキャップにご利用ください)

クラブ	所沢中央	所 沢	新 所 沢	所 沢 東
例会日	月曜夜間	火 曜 日	火曜夜間	木 曜 日
例会場	セレス所沢	野村證券	セレス所沢	セレス所沢

四つのテスト

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

1. 点鐘…会長 2. 斉唱…ロータリーソング 3. 来賓紹介 4. 会長、幹事報告 5. 委員会報告

第 1246 回例会 2012・2・28

卓 話	例会当番	記念祝福
2/28 「一枚のはがきに心をこめて」(株)総合教育コンサルティング 庄司ヤス子様	内野 和美	2月会員結婚 山崎 経策 栗原 和明 山崎 武邦
3/6 しばやま昌彦様	太田 一夫	
3/13 津軽三味線の合奏と唄	大館 信夫	

■出席報告	
月 日	2/14
会員数	38
出席者	25
出席率	65.7%
前回修正	84.2%

会長の時間

室伏 秀樹

本日の卓話はキッコーマン顧問の大森清司様です。著書の「私のビジネス春秋」と「春秋余情」をいただきました。本日はよろしくお願いいたします。

世界大会旅行として、タイ4泊5日175,000円プラスαを計画しました。

是非多数のご参加をお待ちしています。

12日(日)午後6時30分から、所沢中央ロータリークラブの20周年式典があり出席してきました。

記念事業として、障害者の自立支援・「うどんの町所沢」の町おこし・社会奉仕事業を目的に、社会福祉法人所沢しいのき会へ製麺機260万円と熟成庫40万円の計300万円を寄付されました。

資金調達は、日本財団から216万円、ロータリー財団15.6万円、中央クラブ54.2万円です。

最初に記念事業と費用を決定してから、所沢しいのき会から日本財団に申込み助成が決定し、その後ロー

タリー財団に申請するなど、約1年間の長期計画で実行されています。

所沢市役所1階ロビー「コミュニティサロンどんぐり」で食べることができます。試食の結果はなかなかのものでした。藤本市長は学校給食に導入を約束していました。

ところがお土産に頂いた「生うどん」が、打ち粉忘れて裁断したものがくっついてしまっていました。ご愛嬌でしょう。すべて手作りで素晴らしい式典でした。

再来年は当クラブも30周年です。早めの準備が必要と思いました。

また第10回こども「とうきち」将棋大会の関連行事で、朝9時15分から所沢市教育長に将棋盤・駒セット、将棋入門本(序盤・終盤)各35セットの贈呈式を平方社会奉仕委員長と行ってきました。その模様の写真を回覧します。

今日の食品の話はダイコンです。

「大根役者」とは俗に当たらない役者。ダイコンが食あたりを防ぐのでこう言われますが、ほかにも多彩な薬効があり、古くは薬として用いられていました。

ヨーロッパでは4000年以上前から栽培され、日本には中国から渡来し、古事記の仁徳天皇の歌に大根(おおね)の名で登場します。

奈良時代にはダイコン一本・米一升という高価なものでした。

室町時代にダイコンと呼ばれ大衆化し、江戸中期に周年供給されるようになりました。

江戸時代から品種改良が盛んに行われ、切り干し大根や漬物等の加工品も開発されました。

最大は桜島ダイコンで約30kgにもなり、一方の守口ダイコンは大阪府守口市発祥で、直径2cm長さ150cmとひよろ長い品種です。現在の産地は愛知県扶桑町や岐阜県各務ヶ原市の木曾川や長良川の流域の砂地で作られています。

塩漬け・酒粕漬けを繰り返し、3年がかりで守口漬けが作られます。

そのほか京野菜の聖護院ダイコン、徳川綱吉が尾張から取り寄せたのが始まりといわれる練馬大根があります。

私の会社の練馬営業所の大家さんは、練馬区高松の漬物屋で練馬大根の種を絶やさぬように、毎年作付けし種取をしています。

幹事報告

室伏 秀樹

- ◆ハイライトよねやま 143号
- ◆3月10日 RLI の参考資料・・・効果的なプロジェクトのための手引き
- ◆地区職業奉仕委員会「我等の生業」申込受付について・・・1部600円 締切3月9日(金)
- ◆5月10日~14日(4泊五日)タイ国際大会旅行のご案内・・・240,000円の予定(保険料含まず)
- ◆例会変更・・・所沢東 RC
- ◆週報・・・入間 RC、新所沢 RC、狭山中央 RC

社会奉仕委員会

平方 真一

本日、会長と共に「こどもとうきち」将棋大会の寄贈品目録を教育委員会教育長へ寄贈致しました。

他クラブの方々も参加して頂き、無事終了です。

本番の2月26日(日)には沢山の方々のお手伝いを戴きますが、本日例会終了後に各担当の分担を決めさせていただきますので、お手すきの方は1F喫茶室に集合願います。

ニコニコボックス

内田 学

平方 麗 本日はお世話になります。どうぞよろしくお願ひ致します。

室伏 秀樹 大森 清司様、卓話をよろしくお願ひします。平方さんのお嬢さんありがとうございました。日曜日 IMもよろしく!

平方 真一 大森様、遠い所を来て頂きありがとうございます。本日のお話楽しみにしています。

小久保 昇 しばらく休んでいました。とりあえず、検査は“セーフ”でした。

中村 茂 前回欠席。

山崎 武邦 都合により、本日早退いたします。



卓話「わがビジネス春秋とほほど人生」
大森 清司様



1、はじめに

本クラブの会員の平方真一様のご紹介で、千葉県の野田市からやってまいりました大森清司であります。ネパールの小学校建設などで実績のある当クラブにお招きをいただき、例会で卓話の機会をいただき、大変光栄に思います。私もかつて野田ロータリークラブのメンバーでありましたが、現在はリタイアしております。実は平方様のお嬢様の麗さんが東京の出版社にお勤めで、私はその出版社から、これまで本を2冊上梓しております。そのようなご縁で以前所沢西ロータリーの皆さんが野田市のキッコーマンの工場見学に来ていただいたこともありました。また、現役の営業時代には、「山田うどん」さんが会社の大事なお得意様でしたので、時々ご挨拶にお邪魔をしておりました。そういう意味で所沢は私にとって多少ご縁のある土地であります。野田市は江戸時代から続く古い町で、所沢に比べればやや活気に欠けますが、東京近郊には珍しくノンビリとしたいい町です。

なお、終戦時の総理大臣、鈴木貫太郎は野田市関宿の出身です。

2、自己紹介について

まず、最初に私の自己紹介を簡単におさめよう。私は昭和12年(1937)に野田市に生まれ、昭和35年に醤油会社のキッコーマンに入りました。会社では約50年勤めまして、平成22年退社いたしました。会社では、多くの部門で働きました。転居も10回ほどしました。人事部、企画室、日米合弁会社、国内子会社、営業部、経営企画部、マーケティング部、役員になってからデルモンテ事業部長、

総務部長、最後は専務・全国営業本部長でした。この間、総合病院、環境部、品質保証部、広報・IR部なども担当しました。海外出張は数多くしましたが、長期の海外駐在はいたしませんでした。勤めた会社は一社でしたが、仕事は子会社を含め多くの仕事をさせてもらい、感謝しています。これについては、「私のビジネス春秋」という本で書きました。そして「ワーク・ライフ・バランス」のライフについては、「春秋余情」で述べたところです。

3、会社のあらまし

私が50年勤めたキッコーマンは、大正6年に8軒の醤油屋が合併して出来た会社です。もともと江戸時代中期に野田で醤油醸造が始まったわけですが、江戸幕府が開かれて江戸が100万人の大都市になるに及んで、醸造業も発展してきました。醤油の原料は、大豆、小麦、食塩です。大豆や小麦は下総、武州、上州、常陸などで栽培されました。食塩は行徳や赤穂から輸送されました。出来た醤油は江戸で大量に消費されました。ちょうど幕府が江戸川を開鑿したので、原料や製品の水運の便に恵まれたわけです。それまでは関西からの醤油が「下り醤油」として珍重されたのですが、逆転して関東産の「下らない醤油」が圧倒的に強くなりました。関東の濃口醤油の普及に伴って、すしなどの「江戸前」の料理も盛んになりました。なお、会社の合併に際しては、深谷出身の渋沢栄一翁の助言があったとされています。合併してから95年経って、企業の同族経営色はだんだんと薄れつつあります。

現在、キッコーマンは連結で3000億円弱の売上げですが、そのうち醤油が2割、その他つゆたれ、ソース、ケチャップ、本みりん、デルモンテ飲料、マンズワイン、紀文の豆乳、健康食品、バイオ医薬品、食品卸業などに事業多角化をしています。「コルザ」という鉄板焼きレストランも銀座でやっています。海外事業のウエイトも高く、今や利益の過半は海外に依存しているくらいです。醤油の工場は国内3カ工場のほか、海外6カ国にあり、販売は100カ国以上で行われています。グループ会社は約100社で、うち60社は海外にあります。味の素社より規模は小さいですが、グローバル化は進んでいると思います。

なお、今日はバレンタインデーで、日本では商売上手なチョコレート屋さんが大繁盛です。因みに「醤油の日」は10月1日ですが、醤油屋さんのギフトはさほど人気を呼んでいません。

4、「ほどほど」のバランス感覚

キッコーマンはいわゆるビッグビジネス（大企業）というよりも、ほどほどの規模の会社といえましょう。儲けも決して多くはありません。醤油産業は醸造期間がかかり、使用資本の回転率が低いのです。全国ではメーカーも多く、競争も激しい業界です。ほどほどだからこそ、300年も続いてきたのだと思っています。しかし「ほどほど」というのは、そう簡単に実現できるものではありません。甲と乙との単なる中間点というより、いわば「黄金分割」のような微妙なポイント、バランスを見つけることではないかと思っています。いたずらに成長性のみを求めず、あまり儲けすぎず、あまり低利益でもなく企業を長期的に持続させるということは結構難しいことでもあります。

私は現役のころ会社から多くの仕事を任命されましたが、「いやだな」と思った仕事はありませんでした。そしてその仕事については自分なりに「中庸」「ほどほど」のスタンスで取り組んできたつもりです。これは決していい加減にやるということではなく、その時々で人一倍の努力はいたします。出来る限りの努力はするが、ある限度までやったら、無理はせず、後は運命に任せるというスタンスであります。ポストや地位などは結果として後からついてくるものだと思っています。

また、「公正さ」に違反してはいけないというのも私の信念のひとつです。儲けも大切ですが、法を犯してまで利益を求めてはならないということでもあります。私は20年以上前からこれを主張し、外部セミナーなどで講義もしてきました。昨今また「コンプライアンス」ということがよく言われています。いふなれば法令の遵守ということでもあります。最近ではオリンパスや大王製紙の企業不祥事が報道されています。読売巨人軍でもコンプライアンスが問題になっていますが、こちらは野球ファンを忘れた「内輪もめ」「場外乱闘」のようなもので、双方とも「公正」の理念には程遠いと思っています。

もちろん、かつてキッコーマンでもマンズワイン事件という不祥事がありました。私はその火中の栗を拾ったひとりとして、「コンプライアンス」の大切さを人一倍感じているつもりであります。何事も「ほどほど」に収めることは難しいのですが、公正にこれを追求し、実現することこそが、ビジネスの真髄であり、よき人生ではないかという気がいたします。

5、「林住期」の終わりに

古代インドでは、人生を4期（1期は25年）に分けたそうです。学生期、家住期、林住期、遊行期であります。私はいま林住期の最後に位置しています。千葉県佐原の人、伊能忠敬は江戸時代の後期に日本測量全図を作成いたしました。彼がこの大事業を始めたのは、50歳で隠居をしてからのことでした。江戸で天文学、測量術を学び、正確な日本地図の作成を思いました。全体の地図が完成したのは74歳で亡くなった後のことでした。私もビジネスマンを卒業し、彼の年齢になりました。どこかの新聞社の会長のように「老害」といわれるのはいやですが、「ほどほど」に趣味を楽しんだり、社会や子孫のためにできることを見つけ、努力したいと思うこのごろであります。

元ロータリアンの仲間の一員として、「私のビジネス春秋」と「春秋余情」を少々お持ちしましたので、贈呈してまいります。この本は、大成功した経営者などの「上から目線」でなく、一サラリーマンの「ほどほど目線」から書いたつもりですから、多少は皆様の参考になるかと思えます。

終わりに所沢西ロータリークラブのますますのご発展を祈念し、本日の卓話といたします。ご清聴ありがとうございました。

